

# バックエレクトレットコンデンサー型ヘッドウォーンマイクロホン ATM73a

## 取扱説明書

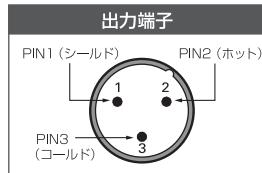
audio-technica®



- 小型で目立たない、激しい動きにも安定なバックホールドタイプのヘッドウォーンマイク。
- 高性能なバックエレクトレットコンデンサー型マイクユニットを使用。フレキシブルブームで位置調整も簡単。
- パワーモジュールは堅牢なアルミダイカストボディ、しかもベルトクリップ付。

### 接続のしかた

マイク出力端子をファンタム電源対応のマイク入力(平衡入力)を有する機器に接続します。  
出力コネクターはXLR-Mコネクターが適合し、図の出力端子の特性を参照してください。

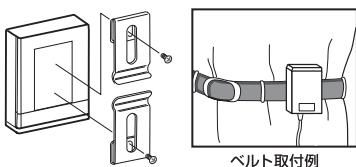


### 使いかた

本製品は指定の電池またはファンタム電源による2ウェイ電源方式です。  
ファンタム電源のない場所では指定の電池をパワーモジュールに入れてください。  
電源スイッチは電池使用時における電池のON/OFFとファンタム使用時における信号のON/OFFが可能です。このスイッチは風などの吹かれノイズを軽減するローカットフィルターのスイッチを兼ねています。

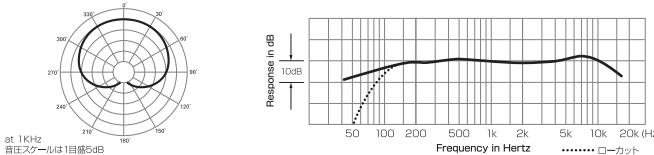
- 付属のパワーモジュールは状況に応じてベルトクリップを逆さにして使用することができます。

#### ●電池の入れかた



プッシュボタンを押して上部のキャップを開けると電池ホルダーが現れます。電池は $\oplus$ と $\ominus$ それぞれの極性表示に従って入れてください。

### 指向特性／周波数特性



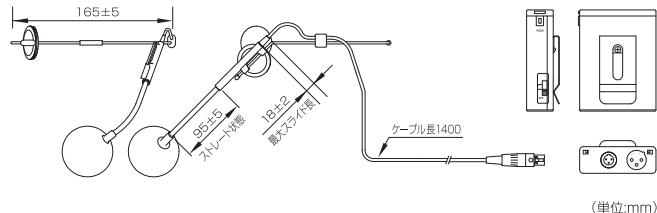
### テクニカルデータ

型式	バックエレクトレット・コンデンサー型
指向特性	単一指向性
周波数特性	100~15,000Hz
感度(OdB=1V/Pa, 1kHz)	-56dB(電池時)、-54.5dB(ファンタム時)
最大入力音圧レベル(1kHz at 1%T.D.O.)	132dB S.P.L.(電池時)、146dB S.P.L.(ファンタム時)
S/N比(1kHz at 1Pa)	60dB以上
出力インピーダンス	270Ω平衡(電池時)、200Ω平衡(ファンタム時)
電源	単3形アルカリ乾電池×1、単3形マンガン乾電池×1、またはファンタムDC11~52V
消費電流	0.4mA(電池時)、2mA(ファンタム時)
電池寿命	約1200時間(マンガン乾電池使用時)
質量(パワーモジュール除く)	約48g(ケーブル含む)
マイク寸法	φ10×25mm
仕上げ	ブラック艶消し焼付塗装
付属品	AT8531パワーモジュール、ウインドスクリーン(大、小)、単3形マンガン乾電池×1

(改良などのため予告なく変更することがあります。)

お買い上げありがとうございます。

ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。  
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。



(単位:mm)

### 安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。  
事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

<b>△危険</b>	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
<b>△警告</b>	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
<b>△注意</b>	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

### 本体について

<b>△警告</b>	●分解や改造はしない ●強い衝撃を与えない ●濡れた手で触れない 感電によるけがや事故、本製品の故障の原因になります。
<b>△注意</b>	

- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない

本製品の故障、不具合の原因になります。

### 電池についての注意

指定電池 単3形アルカリ乾電池×1 または 単3形マンガン乾電池×1

<b>△危険</b>	●電池の液が目に入ったときは目をこすらない すぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。 ●電池の液が漏れたときは素手で液を触らない ・液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。 ・液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。 ・液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。
------------	---

### △警告

●幼児の手の届く所に置かない	●硬貨やカギなど金属製のものと一緒に場所に置いたり、電池の(+)と(-)を接続しないショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●火の中に入れない、加熱、分解、改造しない	●新しい電池と一度使用した電池、銘柄や種類の違う電池を混せて使用しない液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●電池は(+)(-)を逆に入れない	●釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない発熱、破損、発火の原因になります。
●乾電池は充電しない	●長期間使用しない場合は電池を取り出す液漏れによる故障の原因になります。
●使い切った電池はすぐに取り出す	●保管、廃棄の場合は端子(金属部分)をテープなどで絶縁する液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

### △注意

●外装ラベルがはがれた電池は使用しない、ラベルははがさない	●水に濡らさない発熱、破裂、発火の原因になります。
●ショート状態になりやすく、液漏れ、発熱、破裂の原因になります。	●機器を使用したあとは必ずスイッチを切る液漏れの多くは、スイッチの切り忘れによる電池の消耗が原因です。
●落とさせたり強い衝撃を与えない	●指定の電池以外使用しない液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●液漏れ、発熱、破裂の原因になります。	●使用済みの電池は自治体の所定の方法で処分する環境保護に配慮してください。